

## 2020年6月号へのご意見

### 臨時休業体験者の視点から気づきを得た

6月号の特集で、臨時休業中の他校の状況を知ることができ、安心した。また、震災による臨時休業を経験した教師が語った生徒の様子には、はっとさせられた。本校の生徒も気持ちを前向きに切り替えているように見えるが、それは諦観に近い心境なのかもしれない。私も、「焦ることはない」と、生徒に声をかけ続けていきたい。

千葉県・私立成田高校 佐藤杏奈

### オンライン授業の効果検証が必要

6月号の特集で紹介された2校の実践は、今後の授業のあり方を考える上で参考になった。本校でも、対面授業とオンライン授業の併用を検討中で、オンライン授業では、事前の動画視聴を前提とした授業の効果を検証する予定だ。 東京都立南多摩中等教育学校 徳武英人

### ピンチをチャンスに変える発想を

突然臨時休業となり、特に3年生の進路実現に向けた支援や学力保障をどのように進めるかという大きな課題を突きつけられた。そうした中、6月号の特集を読み、こうした状況だからこそできることがあり、工夫次第で生徒を伸ばせることを、改めて確認できた。大切なのは、ピンチをチャンスに変える、逆転の発想だ。特集で紹介された実践を参考に、本校でもできることを考えていきたい。

兵庫県 匿名希望

### 生徒の言葉から、表現活動の重要性を再認識

6月号の表紙の絵を描いた高校生が、「自分の思いを他者に伝えたいという人間としての根源的な衝動が、表現活動の源」と発言していたことが頼もしい。AIがいかに進化しても、学校は表現活動の重要性を再確認して、教育に一層取り入れるべきだと改めて思った。

東京都・私立東京農業大学第三高校 小堀健一

### 校種や規模が異なっても、深い学びはできる

6月号の「実践 アクティブ・ラーニング」で紹介された福岡県立ありあけ新世高校の前川修一先生が実践する「ファンダメンタル・クエスチョン」は、奥深い問いであり、私もぜひ実践したい。また、校種や学校規模が異なっても、生徒に深い学びを経験させることはでき、教科の学びと社会で生きるための力の育成が並行していることが、アクティブ・ラーニングの魅力だという前川先生の言葉に、勇気づけられた。徳島県立総合教育センター 牧野浩章

### 生徒と教師がともに学ぶ姿勢で

本校では、探究学習を充実させるため、どのようなステップで進めるべきかが課題だ。そうした中、6月号の「指導変革の軌跡」を読み、「分からないなら、生徒と一緒に学ぼう」という教師の姿勢が大切だという点に深く共感した。新たなものを一緒につくるワクワク感を、生徒と教師がともに分かち合うことが、これからの教育活動には必要なかもしれない。静岡県立静岡東高校 神谷隼基

OFF SHOT



オンライン取材と対面取材を併用する形での新しい仕事のスタイルを始めて4か月ほどが経ちました。東日本大震災や各地の豪雨災害、今回の新型コロナウイルスの感染拡大の影響……と「予測困難な社会」という言葉を身に染みて感じています。高校生の時は決まったルールから外れるのが嫌だった私ですが、そのような事態にも驚かずに、前向きに捉えている自分に気がきました。きっと、一つひとつの困難な場面向き合う素敵な大人と、同級生、後輩に出会ってきたからなのだと思います。今号の特集では、3人の高校生に臨時休業中の気づきを語っていただきました（写真は自修館中等教育学校の2人です）。改めて自分が何を大切にしているのか、取材を通して、人生の後輩から1人の人間として教えてもらった気がしています。（荻原）



『VIEW21』高校版が  
電子ブックに  
なりました！

『VIEW21』高校版は2020年4月号から電子ブックでご覧いただけるようになりました。ベネッセ教育総合研究所のウェブサイトでご確認ください。  
HOME → 教育情報 → 高校向け → 情報誌最新号

VIEW21 最新号 検索

VIEW21 高校版 2020 10 月号

次号は 10月15日発行 (予定)

『VIEW21』高校版は年6回の発行です